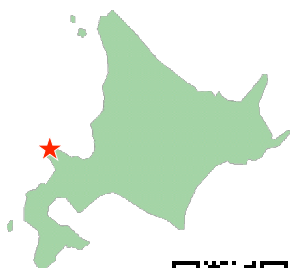


ここなら安心
観察スポット

SB-01

積丹町 神威岬



アクセス



【地層ができた時代】約300万年～200万年前（新生代新第三紀～第四紀）

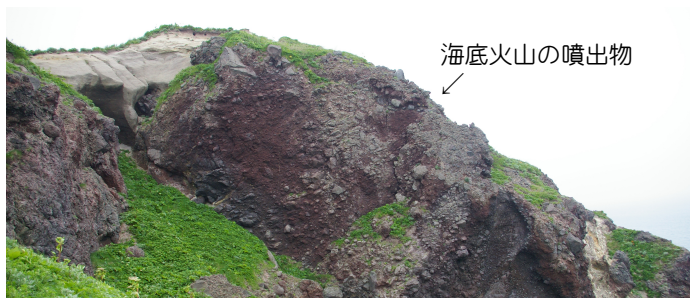
ここがオススメ！

水のはたらき	★★★★
火山のはたらき	★★★●
生き物の痕跡	●●●
地層の広がり	★★★★●
大地の変動	★★★★●

地層の概要

神威岬では、遊歩道に沿って主に2種類の地層を観察することができます。ひとつは遊歩道より下側の岬本体をつくる、約650万年前の海底火山で噴出した火山性の堆積物です（下の写真）。もう一つは、その火山性の堆積物を不整合に覆う、固結の弱い砂岩・礫岩層です。オススメの露頭は、この砂岩・礫岩層が見られる露頭です。

砂岩層は近寄って観察すると、何枚もの薄い泥岩層をはさんでいる様子や、しま模様が下から礫→砂→泥の順に何度もくり返して堆



積している様子などをみることができます。また、礫岩層の礫を観察すると、650万年前の海底火山による火山性の礫が多く含まれており、この地層をつくった堆積物は、比較的近くから供給されたものではないかと推測することができます。細かい斜交葉理とよばれるしま模様が発達している様子もみられることから、ある程度水の流れが激しい場所で堆積したとも考えられています。

観察の際には、しま模様の堆積物の粒径変化や、礫の種類などに注目させ、地層がどのようにできたか考えさせてみましょう。

安全情報

露頭へのアクセス	安全度	❤❤❤●
落石や崖崩れ	安全度	❤●●
足もとの広さ	安全度	❤●●
水の危険	安全度	❤❤❤❤

神威岬は、北海道遺産でもあり、観光地としても知られています。遊歩道が整備されているため、駐車場から露頭へのアクセスは比較的容易です。しかし、道は狭く、両側が切り立った断崖であることなどから、大人数での観察には適していません。バス遠足や、見学旅行などと併せて、野外学習を開催してみてもいかがでしょうか？



観察1 地層をよく見てみよう

(1) 露頭全体を見て、気づいたことや、不思議に思ったことを書いてみよう。

(2) 露頭に近づいて、①や②で地層の様子を観察し、枠内に書き込もう。特に①は、粒の大きさの変化に注目して、簡単な柱状図もつくってみよう。

考察1 この地点の地層は、どのような環境でできたのだろうか？考えよう。

観察・考察2 粒の種類を観察しよう

地層に含まれる礫の種類をよく観察し、どこから運ばれてきたのか、考えてみましょう。



もっと知りたいと思ったことを書いてみよう！
